

## ■メキシコ：大型送電プロジェクトに国内外の企業が大きな関心

エネルギー情報サイトは2018年3月5日、南部のオアハカ州、ベラクルス州、プエブラ州から中央部のメヒコ州や首都メキシコシティーなどにわたる大型送電案件 Ixtepec-Yautepec プロジェクトに、国内外の企業が大きな関心を示していると伝えた。同プロジェクトは2021年12月の運開予定で、7送電線（400kV・500kV・1,658km）と関連する変電設備（1,750MVA）の建設が計画されており、それぞれの落札企業は建設から運用・保守を手掛けることになる。総投資額は17億ドルになると見られる。本プロジェクトは、風力設備が多く立地するオアハカ州から需要地の首都メキシコシティーなどへの供給を目的としたもの。メキシコ電力公社（CFE）から本件の応札に関心を示している企業として公表されたリストには、アベンゴア社、ハイドロ・ケベック社、イベルドローラ社、国家电网、中国電力建設集団、現代（建設・エンジニア）、ABB、GE、シーメンス社、三菱商事などの他、ICA Fluor といったメキシコ企業などが含まれる。